

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第33週の発生動向

□ 全数報告の感染症 (33週までに新たに届出のあったもの)

1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。3 類感染症：報告なし。4 類感染症：デング熱 1 例。
5 類感染症：百日咳 5 例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	80歳代	男	疑似症患者	発熱、食欲不振等
			90歳代	男	無症状病原体保有者	—
		延岡	50歳代	女	無症状病原体保有者	—
		日向	80歳代	女	結核性リンパ節炎	膿(頸部リンパ節)
4類	デング熱	宮崎市	20歳代	女	デング熱	発熱、2日以上続く発熱、発疹、血小板・白血球減少、海外渡航歴あり
5類	百日咳	宮崎市	0~4歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み
		都城	5~9歳	男	—	持続する咳
		日南	0~4歳	女	—	持続する咳
			10歳代	男	—	持続する咳
		高鍋	5~9歳	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み、血痰

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は556人(定点当たり18.1)で、前週比80%と減少した。なお、前週に比べ増加した疾患は流行性角結膜炎で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症と咽頭結膜熱であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【RSウイルス感染症】

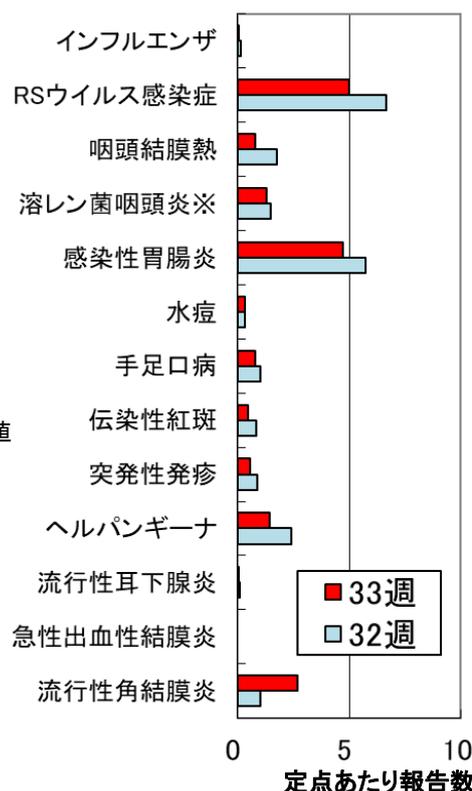
報告数は175人(5.0)で、前週比75%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(1.8)の約2.8倍である。延岡(10.5)、日向、中央(各6.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では1歳以下が全体の約8割を占めた。

【咽頭結膜熱】

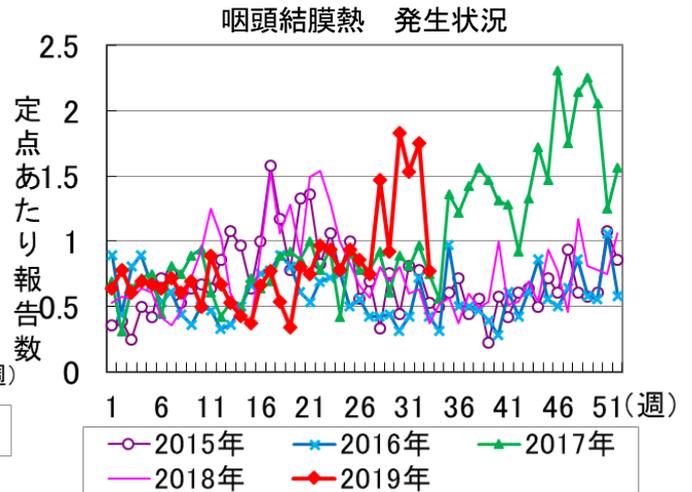
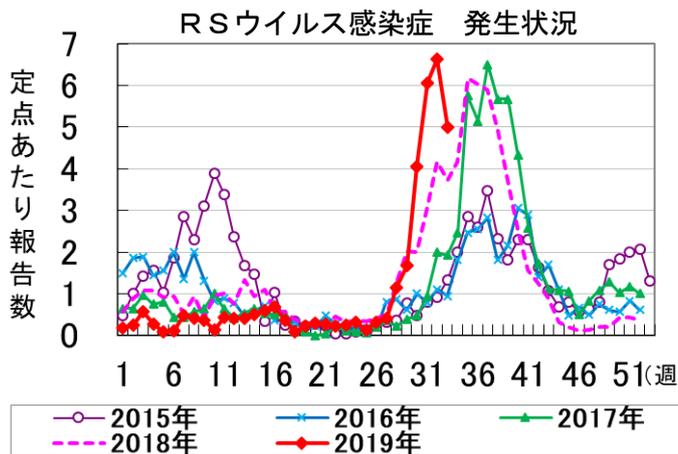
報告数は27人(0.77)で、前週比44%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(0.59)の約1.3倍である。日南(5.0)、中央(2.0)保健所からの報告が多く、年齢群別では1~2歳が全体の約4割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

《前週との比較》



※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	ヘルパンギーナ(6.0)
日南	咽頭結膜熱(5.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	水痘(1.0)
日向	なし
中央	水痘(3.0)

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・水痘(2.0)
- ・ヘルパンギーナ(6.0)

＊流行注意報レベル基準値＊

- ・水痘(1.0)

全国 2019 年第 32 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 32 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	321 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	117 例	腸チフス	1 例		
4類感染症	E 型肝炎	11 例	A 型肝炎	9 例	エキノコックス症	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	チクングニア熱	1 例	デング熱	6 例
	日本紅斑熱	5 例	マラリア	3 例	ライム病	1 例
	レジオネラ症	61 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	33 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	4 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9 例	後天性免疫不全症候群	18 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	5 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	19 例
	水痘（入院例）	8 例	梅毒	69 例	播種性クリプトコックス症	2 例
	破傷風	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1 例	百日咳	252 例
	風しん	14 例	麻しん	1 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 79%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザとRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナである。

RSウイルス感染症の報告数は5,033人(1.7)で前週比119%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値*(0.76)の約2.2倍である。宮崎県(6.6)、福島県(4.3)、山形県(3.5)からの報告が多く、年齢群別では1歳以下が全体の約7割を占めている。

手足口病の報告数は20,693人(6.9)で前週比65%と減少したが、例年同時期の定点当たり平均値*(3.8)の約1.8倍である。山形県(22.9)、宮城県(22.3)、長野県(21.9)からの報告が多く、年齢群別では1～2歳が全体の約半数を占めている。

* 過去5年間の当該週、前週後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(71 定点医療機関)

2019年 第33週(08月12日～08月18日)

疾病名		第32週	第33週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	9	4	2	1			1				
	定点当り	0.15	0.07	0.13	0.10	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	239	175	55	17	42	6	1	21	3	24	6
	定点当り	6.64	5.00	5.50	2.83	10.50	2.00	0.50	5.25	3.00	6.00	6.00
咽頭結膜熱	報告数	63	27	5	2		15		2		1	2
	定点当り	1.75	0.77	0.50	0.33	0.00	5.00	0.00	0.50	0.00	0.25	2.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	54	45	18	8	4	5		3		6	1
	定点当り	1.50	1.29	1.80	1.33	1.00	1.67	0.00	0.75	0.00	1.50	1.00
感染性胃腸炎	報告数	207	165	40	40	1	29	11	10	5	20	9
	定点当り	5.75	4.71	4.00	6.67	0.25	9.67	5.50	2.50	5.00	5.00	9.00
水痘	報告数	11	11	3	1	2		1		1		3
	定点当り	0.31	0.31	0.30	0.17	0.50	0.00	0.50	0.00	1.00	0.00	3.00
手足口病	報告数	36	27	7	3	9	2				5	1
	定点当り	1.00	0.77	0.70	0.50	2.25	0.67	0.00	0.00	0.00	1.25	1.00
伝染性紅斑	報告数	31	16	11	4		1					
	定点当り	0.86	0.46	1.10	0.67	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	32	19	7	3	1	1	4	1		1	1
	定点当り	0.89	0.54	0.70	0.50	0.25	0.33	2.00	0.25	0.00	0.25	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	86	50	14	3	24	1		1	2	5	
	定点当り	2.39	1.43	1.40	0.50	6.00	0.33	0.00	0.25	2.00	1.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	3	1									1
	定点当り	0.08	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6	16	9	4	3						
	定点当り	1.00	2.67	3.00	2.00	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1										
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:58、小児科定点:35(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

* 第32週のデータに一部修正があります。

●全数把握対象疾患累積報告数(2019年第1週～33週)

2類感染症	結核	142例(4)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	33例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例
	チクングニア熱	1例	つつが虫病	3例
	日本紅斑熱	4例	レジオネラ症	6例
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	3例
	急性弛緩性麻痺	1例	急性脳炎	4例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9例	後天性免疫不全症候群	1例
	水痘(入院例)	1例	梅毒	14例
	破傷風	1例	百日咳	191例(5)
	麻しん	1例	風しん	1例
			重症熱性血小板減少症候群	6例
			デング熱	2例(1)
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	9例
			クリプトスポリジウム症	1例
			侵襲性肺炎球菌感染症	9例
			播種性クリプトコックス症	1例

()内は今週届出分、再掲